

平成 23 年 6 月 20 日現在

機関番号：21402

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2009～2010

課題番号：21810023

研究課題名（和文）グリーンツーリズムがもたらす農村女性の役割、地位変遷に関する研究

研究課題名（英文）Green Tourism and Rural Women

研究代表者 千葉 加恵子 (CHIBA KAEKO)

国際教養大学・国際教養学部・講師

研究者番号：70533016

研究成果の概要（和文）：秋田農村部、都市部間での男女格差のレベルの違いは顕著に見られず、むしろ農村部では世代別での男女格差の認識の違いが明らかになった。同時に地域、家庭内でいまだに男女格差があるのは事実であり、農村女性はG T活動に関わることで彼女らの役割、地位が徐々に向上していると認識していることが明らかにされた。

研究成果の概要（英文）：It becomes apparent that women before age 60s in the rural area in Akita tend to feel more on equal with men in household and women in late 70s and 80s, experienced more on inequality with men in household and in communities. Although there were not much differences of gender inequality level between farming and urban communities in Akita, there are still clear gender traditional role. Within this circumstances, women's role and status has been changed and improved through green tourism to the certain extent.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	610,000	183,000	793,000
2010年度	770,000	231,000	1,001,000
総計	1,380,000	414,000	1,794,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：ジェンダー

キーワード：ジェンダー 農村社会

1. 研究開始当初の背景

(1) 他の先進国と同様に、日本でも女性の地位の向上がはかられている。ところがこの状況は、首都圏ではよく見られるが秋田県ではいまだに多数の女性が自分達の地位に不満をもっていることが実態観察、インタビュー調査をもとにした申請者の前研究で明らかになった。

(2) このような状況の中で、秋田では農村過疎化の生き残り対策として、グリーンツー

リズム活動が行われ、女性が積極的に参加し、第一線で活躍している。秋田県内では農産物直売センター、農家レストラン、農家民宿などの約 40 のグリーンツーリズム活動が秋田県農山村振興課に登録されていた。

2. 研究の目的

本研究の目的はグリーンツーリズムが、どのように現代農村地域の女性たちの役割、地位に影響しているかを実証的に明らかにすることである。具体的には、地域、家庭での伝

統的な女性の役割、地位がグリーンツーリズムにかかわることによりどのように変化しているか社会学的視点から分析する。

3. 研究の方法

研究の方法としては、参与観察、農村女性へのライフストーリー調査、その家族、地元住民からのインタビュー調査を軸とする。これらの参与観察、ライフストーリー、インタビューは **Discourse analysis** (談話分析) と **Narrative analysis** (ストーリー分析) の技法を中心に分析し、さらにこの質的調査の結果を、文献調査の結果とともに社会学的視点から分析する。

4. 研究成果

(1) 秋田農村部、都市部間での男女格差のレベルの違いは顕著に見られず、むしろ農村部では世代別での男女格差の認識の違いが明らかになった。具体的には、農業の機械化、また現代農業の経営難状況の影響より、70歳未満の農村女性は70歳以上の農村女性よりも男女平等になりつつあると認識している。

(2) しかしながら、地域、家庭内でいまだに男女格差があるのは事実であり、農村女性はG T活動に関わることにより(例 公共の場に出る、自分の意見を発表する、個性を主張する機会が多くなる、自分で自由に使えるお金を稼ぐことができる)彼女らの役割、地位が徐々に向上していると認識していることが明らかにされた。

(3) 女性のG T活動などの活躍ぶりに抵抗を感じている地域住民が多かったということがインタビューなどで明らかにされたが、これらの女性の活動に対する地域住民の認識も徐々に変化していることも判明された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計1件)

千葉加恵子, **Green Tourism and Women, Rural Women and Green Tourism Bilingual Workshop**, 2011年1月15日, テンプル大学ジャパンキャンパス

[図書] (計1件)

Kaeko Chiba, **Routledge, Japanese Women, Class and The Tea Ceremony**, 2010, 215

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

千葉 加恵子 (CHIBA KAEKO)
国際教養大学・国際教養学部・講師

研究者番号：70533016

(2) 研究分担者
()

研究者番号：

(3) 連携研究者
()

研究者番号：